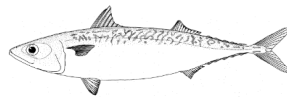


41.サバ類

太平洋海域

主な漁業と漁期

まき網：8～10月
定置網、小定置：6～12月
さば・いわし棒受け網：5～9月



生態

◆分布・回遊

マサバ太平洋系群は、本邦太平洋南部～千島列島南部海域に分布します。成魚は、資源高水準期には東経170度を超えて分布したと考えられますが、低水準期には東経150度以東ではほとんどみられなくなります。成魚は春季に伊豆諸島海域で産卵したのち北上し、夏～秋季には三陸～北海道沖へ索餌回遊します。

ゴマサバはマサバに比べて暖水性。沖合性が強いとされ、太平洋側の成魚の主分布域は黒潮周辺域です。

◆産卵期・産卵場

マサバ太平洋系群：主産卵場の伊豆諸島海域での産卵盛期は3～4月ですが、近年は産卵期が遅い若齢親魚の割合が高く、5～6月の産卵が増加しています。

ゴマサバ太平洋系群の産卵場は、薩南、足摺岬周辺～伊豆諸島周辺の黒潮周辺海域で、産卵期は足摺岬周辺以西で12～翌6月（盛期は2～3月）です。

◆成長・成熟

マサバ太平洋系群（9～12月時点）

	尾叉長(cm)	体重(g)
0歳	22	136
1歳	28	325
2歳	31	470
3歳	34	591
4歳	36	677
5歳	38	781
6歳	41	878

*) 尾叉長：1970～2008年の平均値
*) 体重：2006～2008年の平均値
*) 加齢の基準日：1月1日

◎成熟年齢・体長

マサバ太平洋系群は、尾叉長33cm、3歳から成熟する個体がみられますが、資源が低水準である近年は2歳で5割が成熟し、3歳以上でほとんどの個体が成熟します。

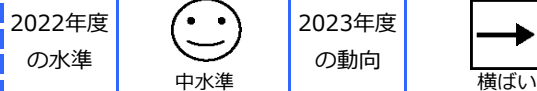
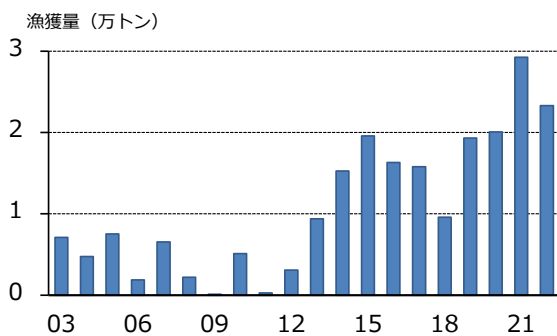
ゴマサバ太平洋系群は、尾叉長30cm、2歳から成熟します。

資源評価

[評価年] 1月～12月

[来遊量の指標] 漁獲量

2022年度のサバ類の漁獲量は2.3万トンと、前年から減少しました。調査船調査のCPUEおよび漁獲量の推移から、2012年以降の北海道太平洋海域におけるサバ類の来遊は、それ以前と比べて良好な状態が継続しているものと考えられます。2022年の当海域へのサバ類の来遊水準は、漁獲量を指標として中水準と判断されました。また、サバ類は複数の年齢で構成されており加入量に比較的左右されにくい資源構造となっていることから、来遊動向は横ばいと判断されました。



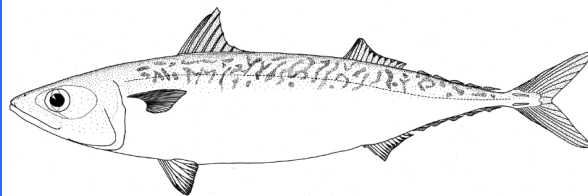
※都道府県も参加した国の資源評価結果を参考に本道周辺海域の資源状況を評価しています

資源の維持・増大のために！

資源管理の現状(主なもの)

○TAC(漁獲可能量)管理

2024年漁期の、まさば及ごまさばの全国TACは、太平洋系群で51.0万トン、対馬暖流・東シナ海系群で18.5万トンとなっており、北海道知事管理分は現行水準です。
(2023年11月時点)



☆広域回遊魚種のため、資源管理には国・他県との連携が必要です。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係
北海道立総合研究機構 釧路水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477

電話 0154-23-6222